



# エコマーク ニュース

Eco Mark News

エコマークは公益財団法人日本環境協会が自主的に運営している事業です。エコマークの活動予算は、すべて認定企業の皆様からのエコマーク使用料ならびに商品認定申込者の皆様からの商品認定審査料でまかなわれています。「エコマークニュース」では、「エコマーク事業実施要領」に基づき、エコマーク事業に関する情報を提供しています。

2016.1.20 No.97

## 「エコマークアワード2015表彰式」および2015年度「エコマークフォーラム」開催のご案内

エコマークでは、今年度のエコマークアワードの表彰式と、消費者、事業者等ステークホルダーが集うコミュニケーションの場である「エコマークフォーラム」を開催いたします。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

◆日 時：2016年2月24日（水） 表彰式 10：30～11：30

フォーラム 13：30～17：00（13：00開場）

◆場 所：東京ウィメンズプラザ・ホール（東京都渋谷区神宮前5-53-67）

◆参加費：無料（定員200名、先着順）

〈エコマークフォーラム プログラム〉

・エコマークアワード2015受賞団体による受賞事例紹介

・パネルディスカッション：「BtoB、BtoCに向けたコミュニケーション手段としてのエコマークの役割と課題」（仮）

・エコマーク年次活動報告

◆参加申し込み方法：氏名、所属先（会社・団体・学校名等）、部署、電話番号、Eメールアドレスを明記の上、Eメール、FAXまたは電話にてお申し込みください。ウェブサイトからも申し込みができます。

Eメール：forum@ecomark.jp FAX：03-5643-6257 電話：03-5643-6255

\*詳細はエコマーク事務局のウェブサイト（<http://www.ecomark.jp/info/forum/2015.html>）をご覧ください。

## エコマークアワード 2015 受賞者決定！

### 「エコマークアワード2015」受賞団体・商品

|                |                                                                                                                                                      |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 金 賞            | サラヤ株式会社・東京サラヤ株式会社<br>洗剤の詰め替え容器で25年間エコマーク取得！～詰め替えパックの継続採用と環境負荷低減の取り組み～                                                                                |
| 銀 賞            | 株式会社オオハシ プラスチック製敷板「リピーボード」<br>昭和電工株式会社 プラスチック製容器包装のリサイクルによるアンモニア製造プロセス                                                                               |
| 銅 賞            | 株式会社山下工芸 自然で自然を支える箸プロジェクト<br>株式会社PFU イメージスキャナ ScanSnap シリーズ、fi シリーズの普及・活用推進による環境負荷低減の取り組み<br>川上産業株式会社 ∞フチ<br>株式会社関東 歯ブラシを丸ごと捨てる時代は終わりました エコ歯ブラシ「セグエ」 |
| プロダクト・オブ・ザ・イヤー | 太陽熱利用ガスふろ給湯暖房システム XF シリーズ〔認定番号：14 154 001〕（株式会社ノーリツ）                                                                                                 |

## 認定基準に関するお知らせ

### 認定基準の制定

以下の認定基準が制定されましたので、お知らせいたします。

| 類型番号 | 商品類型名               | 制定日       | 有効期限        |
|------|---------------------|-----------|-------------|
| 156  | 便器などの衛生器具 Version 1 | 2016年1月1日 | 2022年12月31日 |
| 157  | 給水栓 Version 1       |           |             |
| 158  | 節水器具 Version 1      |           |             |

◆認定基準は (<http://www.ecomark.jp/nintei/>) をご覧ください。

#### ■ No.156「便器などの衛生器具 Version 1」、No.157「給水栓 Version 1」、No.158「節水器具 Version 1」

本認定基準は、従前の商品類型 No.116「節水型機器 Version 2」(有効期限 2020 年 7 月 31 日)を全面的に見直し、「便器などの衛生器具」、「給水栓」および「節水器具」の3つの独立した商品類型として新たに制定したものです。商品類型 No.116 は制定から 10 年が経過しており、認定期間の長期化が課題として挙げられていたことに加え、最新の法規制や規格、各社の技

術開発による製品の進化に対して基準が遅れ気味となっていることも指摘されていました。

こうした状況の下、最新の業界動向および製品性能、ならびにこの先 10 年の環境政策、とりわけグリーン購入法に対してエコマークが担う役割(同等以上の上位基準、プレミアム基準としての機能)などを踏まえ、全面的に基準の見直しを行いました。

### 認定基準の改定

以下の認定基準の部分的な改定を行いましたので、お知らせいたします。(Version の No. は改定前のもの)

| 類型番号 | 商品類型名               | 改定日             | 改定のポイント                                 |
|------|---------------------|-----------------|-----------------------------------------|
| 103  | 衣服 Version 3.0      | 2015 年 11 月 1 日 | リサイクル羽毛等を詰物部分に使用する商品の表示方法の変更            |
| 104  | 家庭用繊維製品 Version 3.0 |                 |                                         |
| 501  | 小売店舗 Version 1.0    | 2016 年 1 月 1 日  | 現地確認に軸足を置いた審査方法への変更や基準項目の統合・整理による簡素化 など |
| 503  | ホテル・旅館 Version 1.0  |                 |                                         |

◆改定点の詳細については ([http://www.ecomark.jp/office/organization/deliberation\\_data/](http://www.ecomark.jp/office/organization/deliberation_data/)) をご覧ください。

## 委員会報告

### 運営委員会(第 35 回)

第 35 回運営委員会が 2015 年 9 月 29 日に開催されました。報告内容は以下のとおりです。

#### 〈報告内容〉

1. 2014 年度(平成 26 年度)エコマーク事業収支決算について
2. 2015 年度(平成 27 年度)エコマーク事業の進捗状

況について

3. エコマーク料金規定の一部改定(サービス分野)について

◆資料等詳細は ([http://www.ecomark.jp/office/organization/steering\\_data/](http://www.ecomark.jp/office/organization/steering_data/)) をご覧ください。

## 基準審議委員会（第18回、第19回）

第18回基準審議委員会が2015年10月16日に、第19回基準審議委員会が11月19日に開催されました。審議事項は以下のとおりです。

### 〈審議事項〉

1. エコマーク商品類型（認定基準）案について

2. エコマーク商品類型（認定基準）の部分的な改定について

◆審議事項および資料等詳細は、([http://www.ecomark.jp/office/organization/deliberation\\_data/](http://www.ecomark.jp/office/organization/deliberation_data/))をご覧ください。

## 調査報告

### CO<sub>2</sub>削減効果の推計結果を公表

エコマーク事務局は、エコマーク認定商品のCO<sub>2</sub>削減効果の推計結果を公表しました。

2014年の1年間に市場に投入されたエコマーク認定商品について、ライフサイクルにおけるCO<sub>2</sub>削減効果を推計したところ、合計約101万t-CO<sub>2</sub>にのぼることがわかりました。その内訳は、再生材の利用など原材料の変更によるものが約23万t-CO<sub>2</sub>、原材料の低減によるものが約0.2万t-CO<sub>2</sub>、電力使用量の削減等によるものが約78万t-CO<sub>2</sub>となっています。

101万t-CO<sub>2</sub>の削減効果は、家庭から排出される約44万人分のCO<sub>2</sub>排出量（1年間分）に相当します。さらに、原材料の変更において、前製品をリサイクルすることによる廃棄回避効果として、約14万t-CO<sub>2</sub>が見込まれます。

推計結果の概要と解説書は、エコマーク事務局ホームページ (<http://www.ecomark.jp/office/report/>) で公開しています。

## トピックス

### エコマークの国際協力活動について

エコマークでは、タイプI環境ラベルのネットワークである世界エコラベリング・ネットワーク（Global Ecolabelling Network、以下GEN）での活動を通して、海外環境ラベルとの相互認証を進めています。

- ・2015年10月 ドイツ・ブルーエンジェルと認証手順規則を締結、「複写機・プリンタなどの画像機器」の相互認証を開始
- ・2015年10月 香港・グリーンラベルおよびシンガポール・グリーンラベルと相互認証協定を締結

- ・2015年10月 GENの役員会および年次総会に出席（香港）

ドイツ・ブルーエンジェルとの認証手順規則締結の様子



### セミナーを開催しました

2015年10月22日に、エコマークセミナー「都道府県リサイクル製品認定制度、エコマークの活用について」を開催しました。講師の明星大学教授 宮脇健太郎氏より、再生製品の持続可能な利用のための政策・制度についてお話いただきました。続いて、神奈川県の見星児氏よりリサイクル製品認定制度の運用と活用について、また環境省よりリサイクル製品認定制度との関わりを中心にグリーン購入法についてご紹介い

ただきました。

11月10日には「ドイツ・欧州の環境規制動向セミナー2015」を開催しました。ドイツ在住の環境規制コンサルタント 望月浩二氏を講師に迎え、ドイツの環境ラベル「ブルーエンジェル」に関する情報やドイツをはじめ欧州（EU）の環境規制などについてご紹介いただきました。本セミナーは毎年開催しているもので、本年も秋頃に開催する予定です。

## 各地の環境イベントに出展しました

エコマークは、各地で開催された下記のイベントに出展しました。

- ・2015年9月23日 「エコメッセ2015 in ちば」(千葉県千葉市)
- ・2015年10月1日～31日 「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」  
3、4日 「ヴェルサウォークエコ博」(愛知県西尾市)  
17日、18日 グリーン購入啓発イベント「はじめよう！環境にやさしいお買い物」(愛知県名古屋市)
- ・2015年11月7日、8日 「ひがしひろしま環境フェア2015」(広島県東広島市)
- ・2015年11月14日 「なかのエコフェア2015」(東京都中野区)



(左)「エコメッセ2015 in ちば」  
のエコマークブース  
(右)「ひがしひろしま環境フェア  
2015」のエコマークブース

## 「エコプロダクツ2015」に出展しました

2015年12月10日～12日に東京ビッグサイトにて開催された「エコプロダクツ2015」に出展しました。エコマークブースでは、生活シーン(街、店、家、会社、学校)のイラストと、それぞれに関連するエコマーク認定商品を展示し、エコマークの認定を取得した商品やサービスが普段の生活の身近にあることをご紹介しました。

また、イベント初日の10日には、エコプロダクツ2015同時開催セミナーとして、国際シンポジウム「世界のグリーン公共調達と環境ラベルの最新動向」を開催しました。日本の公

共調達におけるグリーン購入の現状と事例、ならびに海外の最新動向としてEU、ドイツ、タイ、韓国、中国の状況について、それぞれ講演いただきました。

エコマークブースおよびシンポジウムにお越しいただきありがとうございました。



エコマークブース



国際シンポジウムの様子

エコマークニュース 第97号 2016年1月20日発行

編集・発行／公益財団法人 日本環境協会 エコマーク事務局

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16 馬喰町第一ビル9F

TEL: 基準・認証課 03-5643-6253 FAX: 03-5643-6257 (各課共通)

総務・契約監査課 03-5643-6255

普及・国際協力課 03-5643-6255

Homepage: <http://www.ecomark.jp>

E-mail: [info@ecomark.jp](mailto:info@ecomark.jp)



エコマークは(公財)日本環境協会の登録商標です。